

令和2年度分申告相談が始まります

所得税の確定申告と町県民税の申告相談を行います。

相談日	受付時間		会場
	9時～12時	13時～16時	
2月15日(月)	志津見	角 井	さつき会館
2月16日(火)	川 東	川 西	
2月17日(水)	獅 子		
2月18日(木)	寺 沢	佐 見	ふれあいホール みせん
2月19日(金)	長 谷	敷 波	
2月22日(月)	都加賀	花 栗	
2月24日(水)	奥 畑	上 区(迫・小才田・泉川)	
2月25日(木)	上 区(宇山・小和田)	町 区(一番町・社日町・大仙町・上町・中町)	
2月26日(金)	町 区(本町・横町・新道町・万対町・恵比須町・寺町)		来島交流 センター
3月 1日(月)	下来島(保賀・松本中部)	下来島(松本西部・川尻)	
3月 2日(火)	野 萱(琴麓・三日市・塚原)	野 萱(野萱・野萱団地・下三日市)	
3月 3日(水)	小 田(奥小田・口小田・中小田)	真 木(奥真木)	
3月 4日(木)	真 木(口真木)	上来島(上来島・安江)	
3月 5日(金)	上来島(杉戸・横路)		役場本庁舎 (2階 会議室)
3月 8日(月)	谷(井戸谷)	谷(塩谷・畑田)	
3月 9日(火)	下赤名(東区)	下赤名(石次・福田)	
3月10日(水)	下赤名(千束・中通)	上赤名(北野)	
3月11日(木)	上赤名(瀬戸)	上赤名(中区)	
3月12日(金)	赤 名(上市・衣掛団地)	上赤名(向谷)	
3月15日(月)	赤 名(中市・下市)		

確定申告会場には マイナンバーカード を持参してください

確定申告手続きには、「マイナンバー」の記載と「本人確認書類」の提示が写しの添付が必要です。マイナンバーカードの持参で、本人確認番号確認と身元確認ができます。

●マイナンバーカードがない人は、番号と身元が確認できる書類を持参してください

【番号確認書類(次のうち一つ)】

・通知カード

・住民票の写し(住民票記載事項証明書(マイナンバーの記載があるもの))

【身元確認書類(次のうち一つ)】

・運転免許証、公的医療保険の被保険者証、身体障害者手帳、パスポート、在留カード

■問合せ

住民課 電話76・2213

●スマホで確定申告

申告書の作成はQRコードから。大東税務署で申告相談の際は、入場整理券が必要です。

■問合せ

大東税務署

電話0854・43・2360



確定申告に使用できる 療費・療養費通知 をお送りします

【国民健康保険】

●医療費・療養費(柔道整復のみ)通知
令和3年2月中旬送付

※療養費(柔道整復以外)は領収書を使用してください

■問合せ

保健福祉課

電話72・1770

【後期高齢者医療保険】

●医療費通知

令和3年1月中旬送付

※令和2年11～12月診療分は領収書を使用してください

●療養費(柔道整復、あん摩・マッサージ、はりきゅう)通知

令和3年1月中旬送付(令和元年10月～令和2年5月施術分は、令和2年5月と9月に送付済)

※令和2年10～12月施術分は、領収書を使用してください

■問合せ

島根県後期高齢者医療広域連合

電話0852・20・7525

マイナンバーカードが健康保険証 として利用可能になります(要登録)

令和3年3月(予定)以降、医療機関受診時や薬局利用時に、マイナンバーカードを健康保険証として利用できます。

※現在お持ちの保険証は、3月以降も利用可能
就職・転職・住所変更などで保険者が切り替わっても、届出が済んでいれば、健康保険証の交付を待たずに、マイナンバーカードで医療機関を受診できます。

※マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、「マイナポータル」で事前登録が必要です。登録はスマートフォンやパソコンから可能。役場本庁舎と各支所で登録の際は、マイナンバーカードをお持ちください。

●いよいよ地域振興クーポン贈呈中
健康保険証利用登録者に「いよいよ地域振興クーポン(1人当たり千

要 手続き! 20歳になっても 「国民年金加入のお知らせ」が届かないとき

20歳を迎えた学生や自営業の人には、日本年金機構から「国民年金加入のお知らせ(国民年金に加入したことを知らせる通知)」が届きます。

20歳を迎えて2～3週間経っても通知が届かない場合、誕生日の直前

■問合せ
住民課 電話76・2213

■問合せ
住民課 電話76・2213

※詳細はお問い合わせください

予約方法 希望日の3日前までに電話で予約

事前の予約で、休日でもマイナンバーカードを受け取れます。
開設日時 2月21日(日)9時～17時、3月21日(日)9時～17時
対象者 マイナンバーカード交付通知書(ハガキ)がお手元にある人
開設場所 役場本庁舎(住民課)と頓原基幹支所

「住みたい田舎ベストランキング全国」町」部 3部門で第1位

宝島社の雑誌「田舎暮らしの本」2021年2月号に掲載されている第9回「住みたい田舎」ベストランキング。全国の「町」の部で、本町が「総合部門」「若者世代が住みたい田舎部門」「子育て世代が住みたい田舎部門」の3部門で第1位となりました。また中国エリアでは、市や村も含めたランキングで総合部門第1位に選ばれています。

島根県知事との意見交換会

1月6日(水)に、丸山県知事が飯南町を訪れ、各団体と意見交換をしました。

飯南高校では月根尾寮を視察後、生徒と意見交換。生徒は、飯南高校の特色や自身の入学理由、学校生活で学んだこと、進路のことを話しました。

丸山県知事は「地域に支えられている学校だと改めて認識でき、素晴らしい人材が育っていることに感銘を受けた。これからも魅力あふれる飯南高校を守っていききたい」と話しました。



「いろいろな経験を積みながら、夢に向かって頑張してほしい」と激励を受ける生徒



都会から田舎への移住を考える多くの人たちが、この雑誌を参考にしています。